

第14回ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2017年10月28日(土) 10:00~12:10
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	: 山口委員長、友田副委員長(司会進行)、大永委員、長谷委員、春木委員、 三宅委員
市より	: 藪田主幹、尾川係長、濱田係長、林パイプライン担当
傍聴者	: 9名

○**利用者の会** 定刻になりましたので、始めさせていただきますと思います。

本日の司会進行は利用者の会の友田でございます。

会議を始める前に、芦屋市から、北川部長が体調が悪いため、また、森田課長も御都合が悪いということで御欠席でございます。私どもの委員の長谷委員が、15分ぐらい遅れるという連絡が入ってきております。ちょっと寂しいですけれども、第14回のごみパイプライン協議会を開催させていただきたいと思います。

まず、始める前に、お手元の資料確認で資料が1から8番までございます。資料はこの右手に置いてありますからとってください。

本日も議題が多々ございますので、皆様、議事進行に御協力のほどをよろしく願いいたします。

議題の1番、ちょうど1週間前の台風21号の被害状況、資料1に関しまして、尾川様から御説明をよろしく願いいたします。

○**市** 環境施設課、尾川です。よろしく願いします。

議題1、台風21号の被害状況について、カラーのホチキスどめの資料を用意していただけますか。

まず、カラーの資料1と書いている台風21号被害状況(10月26日時点)ですが、今回の台風によって水が浸入してきました。センターにも水が回ってきました、皆様御存じのように、芦屋浜全域がパイプライン停止という形になりまして、車のパッカー車収集を行っております。御迷惑をおかけしてます。

このカラーの表、10月26日時点ですけど、黄色の箇所につきましては一応復旧しております。パイプライン投入口が使える場所になっております。青の部分に関しまして

は今のところ使えない状況になっております。ただ、部分的に緑ランプになってるところは使えます。ほとんどのところは赤ランプになってると思います。緑の部分でも、緑ランプのところは使える形になっておりますけども、まだそこで赤になったりを繰り返してますので、車収集は芦屋浜全域で行っております。

下の丸の箇所は電源引き込みポールが折れてるところです。ここは黄色の部分になります。さきほど、使えると申しましたけども、ここの投入口に関しましては電源を引き込むポールが倒れてしまって、今、関電から電気をもらえない状況になっております。だから、ここは部分的に使えない。ポールが折れて、撤去はしていますけども、新しい工事として、電源ポールを建てて、また関電に電力量計をつけてもらうことをやっております。

もう一カ所、緑のところもポールが折れてまして、ポールを撤去して、使えない状況になっております。

次のページ、パイプラインが故障し使えなくなった場合、パッカー車収集を行わせていただいているんですが、いろいろトラブル等が起きております。もちろんここに参加されてる方はいろいろ御存じだと思いますけど、再確認で説明させていただきます。

今回の台風21号などでパイプラインが故障して使えなくなったり、輸送管の穴あきが発生し、そこから水が侵入し、パイプラインが運転できなくなる事故が起きてます。今回のことです。市でも日ごろから点検を行っておりますが、どうしても防ぎ切れない場合があります。その際には、投入口に張り紙をするなどお知らせをしております。今、投入口に、車でパッカー収集をしますよ、コーンのところに置いてくださいというのを張っております。

このような事故が発生し、パイプラインが使えなくなった場合、範囲が小さければお近くの投入口。今回の場合は範囲が広いので、近くのというわけにはいかないですが。ある程度広範囲になりますと臨時的にごみステーションを設置し、車収集に切りかえています。この場合は、目印に三角コーンやカラス除けネットを設置しますので、ルールを守ってごみを出してください。

具体的には、ごみはカラス除けネットの中に完全に入れる。ごみは午前8時半までに出す。前日の晩や早朝、収集後に出されますと、収集されるまでの間、長時間置いておくことになり、カラスに荒らされる場合がふえます。できるだけ午前8時半の少し前にお出してください。また、ネットからはみ出したり、ネットの上に置いた場合も

カラスに荒らされる可能性がふえます。

赤字のところです。日曜日は収集しません、ごみは出さないでください。基本的には祝日も含めた月曜日から土曜日の車収集になります。やっぱりトラブルとして起きるのが、収集した直後にまた可燃ごみを出されて、長い間、1日、24時間近くそのごみが放置されてる状況になって、それでカラスに荒らされる事案がかなり発生しております。

再確認としまして8時半の少し前に出していただく、またネットを置いてますので、そのネットの中に完全に入れて、カラスの被害がないようにやっていただきたいと思えます。

こういう形で御迷惑をおかけしてるんですけども、マナーを守ってごみを出してくださいと、もう一回、再啓発させていただきます。

続きまして、台風21号被害状況で写真を撮ってます。

浜風町、10月24日、この時点のこれだけ水が入ってます。23日、台風が一番最接近した日のセンター内の状況になっております。

ポールが折れた2カ所です。緑町と浜風町、ポールが傾いてる状況。もちろん危険ですので、今は撤去しております。

台風21号の被害としてはこのような状況になっておりまして、またこの週末、あした、あさつと、台風22号が来るということで、どうなるのかはわかりませんが、また御迷惑をおかけする可能性もございます。今の黄色の部分を使えますと言うてますが、また来週、どうなるかわからない状況になっております。

1番の台風21号の被害状況につきましては以上となります。

○市 芦屋市の林です。

1カ所だけカメラ調査を入れたところをごらんいただきたい部分があります。浜風町の、ちょうどこちらの環境処理センターの道路を渡った向こう側の輸送管の中のカメラ状況です。昨日の状況ですけども、水が噴き出してます。たまたまこういった動画がとれましたので、こちらの協議会で報告させていただいております。

こちらの穴に関しましては、おととい、この動画をとりまして、昨日、水の勢いが収まってきましたので、止水セメントで、今、こちらを止めさせてもらっております。再度、カメラをまだ入れておりませんので、1日たった経過とかは見えていない状態です。

カメラを近づけますと、ちょうど耐摩耗鋼を張った継ぎ目部分から水が吹き出しております。

○利用者の会 何を張った？

○市 耐摩耗鋼。

○利用者の会 継ぎ目やね。

○市 はい。

○利用者の会 耐摩耗鋼。

○市 はい。

実際、こちらの奥にバキューム車をつけておりますので、そこから出た水を全部吸い取ってるので、水位は上がってない状態です。

日々、状況等も変わってきますので、こういった形、臨時的なんですけど、報告をさせていただきます。

以上です。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして質問等があれば。

山口さん、どうぞ。

○利用者の会 おはようございます。利用者の会の山口です。

状況だけ確認したいんですけども、今のは台風の話ですよ。ということは管の中に、ほかでも同じことが起きてるだろう。それは水位が減るんじゃなくて、上がってる可能性もあるってことですよ。下がってるのか上がってるのかだけ、いつなくなるか僕もわかりませんが、その辺がもしわかれば。

○市 台風の雨の水によるものなのか、地下水、潮位との絡みがあるんですけども、その地下水によるものなのか、今、わかっておりません。雨水によるものであればバキュームで吸うことによって、ある程度、一定減らすことできるんですけど、地下水、潮位によるものであれば、海に対して吸うところでどうしようもない。ただ、穴のあいてるところをまず探し出して、そこを処置しないと、地下水によるものであるとなかなか解決に至らない、止水ができない状況になってしまいます。今、入ってきてるところを一生懸命、犯人捜しをしてる状況になっております。

○利用者の会 春木です、よろしくお願いします。

ひどいですね。ホームページで出てたから、とまっているところあるのかな程度ぐらい思ってたんですけど、全域ですね、芦屋浜。以前から、輸送管については私も一遍、修

理のときに呼ばれて見たときには、もうぼろぼろやったです。本当にひどいなと思ってるんです。それと10年、20年、30年の費用を出しましたけど、これだけ全域にああいう状況であれば非常に心配というか、それまでほんまに大丈夫なのかなという気が、これを見せていただいて物すごくしました。

以前も輸送管の代替でテストをされてましたけど、その辺はほかにいい案がないかどうかを含めてやっていただかんと、この先、非常に心配です。極端なこと言うたら、10年もつのかという気もしますし、かなり各所が穴あいて、穴あいてだけであればいいですけど、前に見せていただいたように、ぼろぼろな状態があちこち出てるのかなという気がします。

今、情報として入ってるのが、代替に対していろんなことを調べられて、いい案をお持ちの方もおられます。その辺も含めて、ぜひその辺のテストをやっていただきたいという思いがしてます。テストはどこでやるかというのは、一番いいところで想定してやられたらいいと思いますが、その辺はあれば、そういうことも採用していただいて、ぜひ進めていただきたいと思ってます。

それで議事があるけど、今朝やったか、情報として聞いたんですが、いっぱいある中であれな気もするんですが、野村さん、その辺よろしいですか。

○傍聴者 どちらの話ですか、パイプライン。

○利用者の会 パイプライン。

○傍聴者 シーリングの話。

○利用者の会 シーリング。

○傍聴者 シーリング、わかりました。

○利用者の会 簡単に、また後ほど環境処理センターの課長さんらと話ししてもらったらいいと思いますけど。

○傍聴者 潮見町の野村でございます。

私の意見を始める前に、先ほど潮位のことの説明があったので、私、そのことわかるので説明させていただくと。潮位は、ちょうど海拔に、満潮・干潮のところで、その部分をたしたり、引いたりしたところが潮位になるんです。今、配管の入ってる配管がGLの値、海拔から何ぼのどこに入ってるのやと。マイナス海拔に入ったら、これは潮位の可能性あります。プラスのどこに入ってる場合は、基本的にそれは雨水が浸透して行って、その力がかかって、そこでサイフォンみたいな形で穴のあいてるところ

から出てくる。だから地下水に近いような値です。そういう考え方で。

だから海拔よりも低いのか、低いところに入ってるのか入ってないのか。大体3メートル、4メートルあたりのところやから、海拔よりは高いところにパイプラインは埋設されてると思うんです。そのところは、海拔からの図面があればわかると思いますので、それを見られたらいいんじゃないかと思います。

次に、先日からパイプラインの、この前の、ちょうど高浜の工事をされてる内容もあって、パイプラインの中側にシーリングをすることを、下水の技術から何かないやろかということです。もともと、私自身はパイプラインの修理するのにどうしたらええか、ちょうどドイツで天然ガスのパイプライン、もっと大きいものですけど、ロシアから西ヨーロッパに引いてくるパイプラインを敷設したエンジニアがいまして、彼と相談したときに、ちょうど1年ぐらい前です。

基本的に、下水の中にシールをするのは非常に発達してるから、それを応用して日本で探すほうがいいという話を聞いてまして。ちょうど金曜日、大阪の梅田にある大日本プラスチックという会社があるんですが、そこでハウエル管といいまして、普通はその中に下水または水を通す管ですが、今の欠陥があって、その内側にそのままそれをずっとシールして中へ放り込んでいけるんです。おもしろいのは、曲線だったら、切ったところがあったとしたら、そこから順番に放り込んでいったら100メートルぐらい放り込めるんです。両方に穴あけて、100メートル離れたところにパイプラインのパイプを出したところを出す。その配管を切ったところから放り込んでいったら、反対側100メートル先で引いとくわけです。そしたら、それぐらいは引いていけるとか。

入れていってどうするのということは、5メートルが規格ですが、5メートルのパイプを入れて、それを現場で熱溶着でひっつけていくんです。ひっつけて放り込む。だから、幾らでも放り込んでいけるという理屈です。これは一遍、環境のほうで、技術的な話はお聞きになったらいんじゃないかと。

たまたま、私と浅田さんと話を、浅田さんはごみ関係のプラントをやってる、我々のグループの仲間です。彼とやり取りしてまして、彼も非常におもしろいんじゃないかと意見を持っておられて。あとは、掘って入れていかんといかんから、土木関係の話になるので、その土木のところはどうするのというのはありますけど、大日本プラスチックが、もしもやるのであれば、その土木に関しても紹介することはできると言っていました。いつでも来て説明はさせていただくと言っていましたので、もし、協議会の中

でおやりになるのであれば土曜日も出てくると言っていましたし、平日、別の機会で設ければ話は聞けると思いますので、非常に有効じゃないかと。

もう一つ私が感じたのは、話をしてて、直線だったら真っ直ぐいくと。この前、たまたま高浜かどこかで、今、工事してる場所で、何か埋設物があるから、そこが掘れないから、それを迂回するために掘ってやらんとあかんという話があったと思うんです。その場合だったら、その中に真っ直ぐ入れていって、両サイド、その埋設物のないところだけ穴あけて抜けば、その間、入れることができるわけです。コスト的な意味では安くできるだろうと。全部掘るわけじゃなくて横から入れていくわけですから。恐らく、単純に私として、きのう話ししてた内容ですけども、メーター当たり10万円程度の感覚でできるのではないかと探ってみました。

詳細については、どちらにしても、一度、環境の皆さんがお聞きになることは参考になるとと思いますので、どういう機会ですらいいかは、一遍、皆さんで詰めていただきたいと思いますけど。そういうことを思っております。

以上です。

○利用者の会 質問させてもらっていいですか。アイデア、いろいろありがとうございます。利用者の会、三宅です。

今の話でいくと継ぎ目継ぎ目はシールでいきますよね。プラスチックのパイプと外からのパイプとの間はどないなってるんですか。そこに、結局、空気が残ってたら、輸送管は風圧ですよ。だから、それ自身の強度が問題になってくるかと思うんです。

○傍聴者 野村でございます。

先ほどの質問ですが、風圧に関しては、今、林さんから風圧の数字をパスカルで聞いてますので、そのメーカーに対してその数字は連絡して、それをもとに基本的に設計する形になる。どういうことかという、パイプに関して非常におもしろいつくり方をしてまして、内径は決まってるんです、金型があつて。ただ、外径に関して、肉厚については、例えば15ミリメートルとか18ミリメートル、20ミリメートルとか変えられるんです。それによって強度を変えることができます。

風圧の強度に関しては、私として今までの経験上、持っているだけの数字ですが、余り問題にはならないと思います。

もう一つは、プラスチックはおもしろくて、鉄の場合は風圧をかけて、缶でもそうですけど、くちゃっと潰してしまったら元に戻らへんのです。プラスチックは、特に高

圧のポリエチは非常に復元性が高いものですから、恐らく、瞬間、潰れたとしても、何かで力がかかったとしても、90%ぐらいもとに戻りよるんです。そういう意味で、強度に関しては基本的に、恐らくそれはきっちりメーカーが数字を出してくれると思いますので、その数字を聞いて判断されたらいいと思います。

今おっしゃってる、三宅さんの質問にもう一度答えますと、パイプがあって、パイプをつないでいくときに、2つ方式がありまして、ただ単にパイプをかぶせて、そこを溶着していくのと、もう一つ、そのパイプの90度の断面をそのままニクロム線みたいなものを入れて溶着していく。今、その技術がすごく進んでまして、ほとんど問題ないと考えてください。というのはガス管、水道管、それ皆、今、その方式でつないで、ずっと新しい埋設をやっています。それぐらい接着したところがパイプの原型としてなってしまうとお考えいただいたらいいと思います。

詳細の、技術的な、何気圧やったら大丈夫か、どのぐらいやという数字はメーカーが計算すると言ってますので、基本的にはそれで問題ないと思います。

○利用者の会 どうも、野村さん、ありがとうございました。

こういうのはいいアイデアかどうか、これはまた市役所さんで大日本プラスチックですか、電話1本で来ていただけたらと思います。使えるのか使えないのか。1つ、これからの費用がかさんでくる。まして今回の台風の、先ほど春木さんが言われたように、みんなショックですよ。新たな疲労度がよくわかってきた。そういう中において新しいアイデアはどんどん積極的に、トライ・アンド・エラーでやっていただきたいと思います。

続きまして、本日の議題の2番です。輸送管穴あき工事について、資料2です。林さんから説明をよろしくをお願いします。

○市 芦屋市の林です。

今、高浜町で穴あきの工事を行っております。そのとき、輸送管を、摩耗したやつを新しい輸送管にかえる工事です。

以前に報告させてもらった資料です。今回、高浜町で2カ所、工事を行います。9号棟と8号棟で行います。先に8号棟を、今、輸送管の交換を行っております。工事を行うに当たりまして緩衝する管とかの移設とかを行いまして、輸送管の補修の掘削は10月10日ごろから行っており、現在も続いております。雨の日とかは作業はしておりませんので、ちょっと延びております。

実際、管がどういう感じか工事状況を写真で説明させていただきます。

投入口があるんですが、写真から外れております。投入口のピット、黒いものが新管になります。こちらが既設の管。溶接のために一時的に幅があいてるんですが、これは仮接続、運転ができるような形として巻いております。最後に取り出した輸送管になります。

今回に関しましては工事中でありましたので、外に、現在、工事に取り出した輸送管を展示しております。もし、お時間あれば、自動ドアを出られまして右手に輸送管を置いてますので、見てかえっていただきたいと思います。

展示してる輸送管に関しましては溶接した部分がとがっておりますので、触らないようお願いいたします。

穴あき工事の報告は以上とさせていただきます。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして、御質問等あればお願いいたします。

ないようでしたら、次に進めさせていただきますと思います。

議題の3番、家庭ごみハンドブックについて、資料2を濱田さん、よろしくお願いたします。

○市 初めまして、芦屋市環境施設課管理係長の濱田と申します。

今回、このハンドブックを発行しまして、その話をさせていただけるということで、初めてこの協議会にお招きいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

この度、家庭ごみハンドブックがお手元にあるかと思いますが、新しく発行させていただきました。今まで使っていた見なれた感じのとは大分雰囲気が変わってるかと思えます。これまで、とても見にくい、わかりにくいというお声をずっといただいていました。というのは、ずっと職員が継ぎ足し継ぎ足しでつくっていたようなものだったんですけども、版を重ねるに当たって見にくくなってしまったところがありまして、大幅にリニューアルをしました。その際に今までの家庭ごみハンドブック、ごみを捨てるための書類だったんですが、これにとどまらずに、ごみの減量化、再資源化のきっかけをつくれればという思いを持ってつくりましたので、そのお話をさせていただければと思っております。

大きいポイントとして3つありまして、分別が大切なことをお伝えしたい、再生資源集団回収をもっと広めたい、再資源化・減量化の取り組みについて知ってほしいという内容についてお話しさせていただきます。

スライドですが、ごみの減量化・再資源化が必要であります。

今、私たち環境施設課がしてるのが廃棄物行政という内容になります。大きな2つの柱がありまして、ごみの適正処理、もう一つがごみの減量化・再資源化という内容で働いております。今までのごみハンドブックは、これを何ごみに出してください、こういう処理をして出してくださいというごみの適正処理のお話ばかりでした。今、私たち基本計画にのっとして、ごみの行政をしておるんですけども、今の基本計画の内容が、私たち一人一人が主役となって身近なごみを意識し、持続可能な循環型社会を目指しますというのをモットーとして、その一つが、ごみの減量化・再資源化の促進と掲げています。それを皆さんに進めていっていただくために、ごみの減量化・再資源化の取り組みきっかけをつくれなにかと思って、このハンドブックをつくりました。

まず、分別が大切なことをお伝えしたいのが1つ目です。今、芦屋ではごみを12分別でお願いをしております。実際、どの程度、家庭内でごみを分別できているかですが、環境施設課では年に何回か、パッカー車をあけまして、ごみの成分分析をしています。例えば、燃やすごみのうち、30%から40%ほど紙ごみが混入していたりします。紙ごみを紙資源として出していただければ再資源化できるんですが、燃やすごみの中に混ぜ込まれてしまうと、どうしても灰になってしまうだけです。そういったことがあるので12分別をお願いしてるんですが、分別してくださいとお願いしてる中で、こんなに混入してしまうのは何でかと、とてもこちらとして困っていることであります。

お手元のハンドブックの4ページ、5ページ、皆さんに出していただいたごみの行方をお伝えできればと思って、そのようなページをつくりました。

一番上、燃やすごみのラインを見ていただきたいんですけども、燃やすごみとして出されてしまいますと、焼却施設を通過して、バグ灰とか焼却灰になってしまいますが、紙資源に出していただけると、再生資源の会社にお持ちして、例えば紙だったら段ボールになります、再生資源になります、トイレットペーパーになりますとお伝えしております。

これとほとんど同じ資料を小学4年生の社会科見学でも見ていただいているんですけども、やってくださいと言うだけではなくて、こういったことがあるので続けてほしい、こういった意味があるんですとわかっていただけるだけで、少し取り組んでいただけるモチベーションになればと思って、こういったものを載せさせていただきました。

では、次に行きたいと思います。

再生資源集団回収をもっと広めたいというのが1つあります。家庭ごみハンドブックの24ページをあけていただけますか。再生資源集団回収は、地域の活動団体が主体になって資源ごみの回収を行う場合、市から団体に対して報奨金を交付している制度です。今、1キログラム当たり4円の報奨金をお渡ししております。登録団体数が約175団体あります。27年度実績になりますが、回収実績が3,894トンあります。

この基本計画に入っている表を見ていただきたいんです。先ほど御説明させていただいた、皆さんに12分別をしていただいて、それを持ってきて、この環境処理センターの中でリサイクルしているものが、一番右の端の上から3番目、2,165トンになります。約、その倍の量を皆さんの集団回収でリサイクルをしていただいています。リサイクルしていただくことで大分リサイクル率も上がっておりますし、お手間をとらせてしまうこともあるかと思いますが、とても効果がある施策にはなるかと思いますが、皆さん、団体で動いていただいたら団体の資金にもなるかと思いますが、これをもう少し使いやすい制度にして、もっと広まればと思います。

このハンドブックのリニューアルに伴って、この10月から、登録要件は今まで20世帯以上としていたんですが、少し緩和をして10世帯以上に、10世帯で1つの団体と登録ができるようになりました。もし、登録団体の要件に合わないから使っていなかったけれども、使いやすいことがありましたら、ぜひお声かけいただければと思います。

次に、減量化・再資源化の取り組みについて知っていただきたいとあります。減量化してください、再資源化してくださいと言われても、なかなか何をどうしていいのかわからなかったり、すごく制度がややこしくて、おっくうだったりするところがあるかと思いますが、難しい制度は私たちが解説することでわかりやすく御説明して、使いやすく思っただければと思います。

ハンドブックの22ページ、23ページを開いていただきたいと思います。今まで市役所内に持ってきていただくのではないリサイクル、個別のリサイクルの制度があるものについては余りハンドブックで御紹介をすることなく、お電話で問い合わせがあった場合等に、こういった制度があるんですと御説明をさせていただいてたんですが、もう少しわかりやすく、皆さんに使っていただきやすくできればと思ひまして、フローチャートを載せてみたり、地図を載せてみたりしました。

減量化してください、再資源化してくださいと、余り心動かされる制度ではないのか

などというところがありまして、皆さんに楽しんで減量化等に取り組んでいただければと、国とかほかの団体がしてるようなおもしろい制度を御案内できればと思いました。

今、市役所にこんな箱を置いてるんですけど、見たことある方はいらっしゃいますか。これは小型家電回収を何年か前から施策でさせていただいてるんです。皆さんがその他燃やさないごみの日に出していただいたものに関して、市で回収をして、今、リサイクルをしています。ただ、それを言うだけだとおもしろみもないかと思ひまして、今、オリンピックの一環で、これで回収するのは携帯電話だけですが、回収した要らなくなった中古の家電からレアメタルを取り出して、東京オリンピック、パラリンピックの金銀銅メダルをつくろうという動きがあります。普通にごみの回収、リサイクルさせてくださいと言うだけよりは、こういうのにのっとったほうがおもしろいかなと思ひまして、こういう動きもしてますので、また興味を持って見ていただければと思います。

あと、今年の施策としまして、食品ロスの対策をしようというのがあります。ハンドブックの一番後ろのページを見ていただきたいと思ひます。変なイラストが載ってるかと思ひますが、「ろすのん」といひまして、農林水産省がしております食品ロスのロゴになります。食品ロスの啓発となってしまうと、皆さん、今、食料自給率が何パーセントで、どのくらいのもものが廃棄されていと書くことが多いですが、皆さんの関心を引ければと思ひまして、こういったロゴを載せてみたりしました。これからも皆さんが飽きずに、敷居が低く、楽しく啓発できればと思ひておりまして、こんなのをつくってみました。

以上、家庭ごみハンドブックの御説明でした。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして質問があれば。

山口さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

本当にいいものをつくられたということで、これを私のポスティングにさせていただきましたので、家族みんなで見て、前と比べてどうやと話をしたんですけども。イラストが大きくて、わかりやすくて、見やすいという意見でした。

私のはもう一歩進んで2つ、意見です。今後生かされたらいいなど。

24ページ、パイプライン地区にお住まいの方へというのがあります。これは勝手な私の希望ですけど、1ページにしてほしいなど。

もう一つは、せっかくここまで使われてるんですけど、じゃあ分別のときに、例えば家庭でこうしたら分別しやすいというのがあるはずですよ。そしたら、それを見て、この家庭はこうしてるから分別が簡単なんですよとわかるんです。例えば私のところは、パイプラインとかこういうことをいろいろやりましたら、やっぱりごみに関する関心が家族で非常に高くなりまして、今、紙だけを置くものをつくったんです。生ごみと、缶・瓶と、その横に紙だけをここにみんなで入れましょうと。だから、メモ書きでも僕らはいっぱいいろんな資料をもらうんですけど、全部そこにぽんと入れるだけなんです。2週間に一遍、集団回収が来ますので、それを持っていく。そういうアイデアがそれぞれの御家庭にあると思うんです。そういう仕組みを家庭でつくと、実は集団回収のものもスムーズに運ぶんです。

そういうのが写真であって、こうしたら、皆さんがまた集団回収で12分別も楽になりますみたいなものが追加される。単にこうしてください、ごみはこうですよ、プラス、具体的にこういう形をそれぞれの自宅で取り組んだらどうでしょうかと。それをやると、もう一つは家族の意識が物すごく高まるんです。単にそうすることによって集団回収が個人の家で楽になるだけじゃなくて、意識が物すごく高まって、ごみってこんなふう処理したらいいんだと実感してます。個人的な意見ですけど、ぜひともその辺も追加されたらどうかと私は思います。

本当にこれ感動しました、ありがとうございます。

○利用者の会 藪田さん、どうぞ。

○市 芦屋市の藪田です。

山口委員さんの個人的な御意見ですけども、今のお話を聞かせていただいて、私も、それいいなと感じました。それぞれの御家庭でいろいろ工夫されたりしてると思えます。我々の気づいてないようなこともあると思うので、こういうお話を聞かせていただいて、何かで「ある家庭の取り組み」みたいなので紹介させてもらったら、またそれを見た人がまねできるなと取り組んでいって、こういうものが進んでいけばもっといいなとすごく感じました。

こういうことが、例えばパイプライン地域でも進みますと、当然パイプラインの中にもたくさん段ボールとか紙とかが入ってるので、分別がしっかり進めばパイプラインに入れなくていいゴミがふえて、使う時間が減れば、それだけ長持ちすることもありますので、しっかり分別すればパイプラインのためにもなるのかなと感じたところで

す。

以上です。

○利用者の会 それ以外に御質問等はございませんか。

ないようでしたら次の議題に参りたいと思います。4番、草木類の捨て方について、資料3、藪田課長からお願いします。

○市 芦屋市の藪田です。

議題4、草木類の捨て方についてを御説明させていただきます。

資料は左肩に資料3と書いてあります、B5サイズの紙で印刷しているものになります。

パイプラインの詰まり、この協議会でもたびたび、いろいろ事例も出しながら話ししてるんですけども、やはり草木類によるトラブルが結構多く発生していることもあって、わかりやすくパイプライン地域の方にお知らせしていこうかと思って、こういうチラシをつくりました。本来カラーですが、これを紹介させていただきたいと思います。

草木類の捨て方で、パイプラインは詰まることがありますので、利用されてる方、皆様が注意してごみを捨ててもらえれば、トラブルも少なくなる設備となっております。だからといって草木類、全部パイプラインに入れなければ、月1回しかないその他燃やすごみの日に出すしかなくて、これはこれでまた不便であったりもします。もしくは量が多い場合には有料になり、植木剪定ごみとかになります。また月1回のその他燃やすごみ、そこに集中しますと、今度、パッカー車でも集めきれない量になってくることもございますので、やはり適正に使っていただければ、よりスムーズにいろいろとごみの処理ができることとなります。

基本的にはパイプラインに捨ててもらおうということで、どういごみがパイプラインに捨てれるのかですが、玄関先とかお庭なんかの日常的な清掃で出るごみを想定しております。内容的には、これは土をよく払ってほしいんですけども、葉っぱ、雑草、あと小枝は、余り大きいものとか長くなりますと詰まりますので、目安的には大体直径2センチぐらいで、長さが20センチぐらいまでであれば問題ないと思います。それぐらいのものはパイプラインに入れてもらってもよろしいかと思ひます。

あと、投入口に入るサイズの袋、スーパーの袋に入れて捨てるんですが、そのスーパーの袋に枝とかを折り曲げて無理やり入れてしまいますと、またパイプラインの中で

広がって詰まることもありますので、折り曲げてぎゅうぎゅうにして入れることは避けていただきたいです。先ほどもあったように、直径2センチとか長さ20センチに切って、袋に入れて投入していただけたらと思っております。

あと、結構量がありますと投入口がすぐに赤ランプがついて、ほかの方がなかなか捨てられなくなったりしても困りますので、日常的に出るごみの量ぐらい、少量に分けて投入していただけたらと思います。ちょっと量があるときは時間を分けてもらうとか、日を分けてもらう形で、周りの方にも配慮していただきながら投入していただきますと、皆さん気持ちよく使っていただけるのかなと思います。

これ以外の、これ以上の草木類のごみですが、いわゆるこのサイズじゃないもの、枝になりますけども、そういうものは月に一回ありますその他燃やすごみの日に出していただければと思います。これにつきましても基本的には日常の清掃から出る程度のごみとなっております、ただパイプラインに入れることのできない大きなごみの分類となっております。

もう一つ、臨時的に行う剪定で出る多量のごみは、これは全市的に同じルールですが、植木剪定ごみという取り扱いとなっておりますので、事前にお申し込みしていただいて、有料での処理となっております。これはパイプラインだけじゃなくて、芦屋市内全域、同じルールとなっておりますので、このあたりもよろしくお願ひしたいと思ひます。

最後、下にお願ひとあります。パイプラインに入れられるものは、できるだけパイプラインに投入していただけたらと思ひます。やはり月1回しかない、その他燃やすごみの日に余り大量で集めきれなくなりますと、ほかのごみ収集にも影響が出てきますので、今日配らせてもらった紙を見ながら上手に使ひていただけたらと思ひます。

それと、問ひ合わせが結構あるもので、最後の下のほうに書かせてもらっています。地域の皆様で市の道路とか公園、草木類とかその他落ちてるごみの掃除をしていただひてます。こちらのごみにつきましては、道路のごみであれば道路課、公園のごみであれば公園緑地課に問ひ合わせていただひければ、また日程調整して、取りに来てくれるので、この辺も上手に使ひていただけたらと思ひます。

こういうチラシを我々環境施設課と、ごみを収集しております収集事業課と2課で作ひまして、本当であれば10月31日、火曜日に、投入口に張ってまわろうかと段取りをしてたんですけど、台風で投入口が使えない状況になってしまひてます。今、投入口

が使えないので、三角コーンのあるところにごみを出してくださいというチラシも張らしてもらって、これを張れない状況になってしまったもので、張る作業は、今の台風被害がおさまってから、落ちついてから、また張らせていただきたいと思います。きょうは、そういうこともあって紹介だけさせていただきました。

以上でございます。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして、質問等あれば。

長谷さん、どうぞ。

○利用者の会 この件ですが、通常この形でいいですね。

その前にお礼を言わなければならないのは、台風後の道路清掃なんかさせていただいた後、きれいに収集していただいて、収集事業課がいてらっしゃらないのですが、ありがとうございました。

この通常の姿、これでいいですけど、公園緑地課と道路課、今回の台風で道路上に飛散したものを地域の方が集めていただいて、きれいにしていただいたんですけども、大量のごみが出るんです。そのときに、道路課にお聞きしますと、道路上に飛散したものについては道路課が撤去をすることになっている。ところが、それを集めて集積地の場所に持っていきますと、今度、収集事業課が担当してとられる。確かにどちらでもいいですけど、市民にとってはわかりにくいので、きちっとその辺を整理していただいて。いざ、こういう台風が、この土日どうなるかわからないですけど、後のそういうトピックス的になるものについても、一応統一をしておいていただきたいと思います。

道路上に飛散したものを集めて道路を使えるようにするのを地域の住民がやったとしても、後のごみ処理までわからないので、台風の被害とかについて、集めた場合はどこそこへやるんやと明確にしといていただきたいと思います。要望も含めてお願いしたいと思います。

○傍聴者 質問ですけど、以前、藪田さんから、この草木類のごみに関して、ほかに関しても、今現在パイプが非常にコレステロールがたまったような状態がたがたになつとるということで、袋に入れたとしても、こちらの環境センターに運ばれる間に袋自身がばらばらになっているということで、袋に入れても入れなくても一緒じゃないかと。袋に入れた場合、貯留槽が余計に容積をとって、すぐに赤ランプがつく状態になる可能性がある。袋が輸送管を通ってる間にばらばらになるのなら、最初から小分

けにして投入口に入れたほうが、より多くの廃棄物を入れられるのではないかと思いますけど、それはいかがでしょうか。

○市 藪田です。

以前、私自身も皆様に御説明させていただいたときに、どっちでもいいよとか、袋に入れなくてもいいよと言ったことがあるんです。別に入れなくても運搬はできるんですが、最近、我々もこの詰まりの原因とか、植木ごみの状況とかに興味を持って見てたんですけども、より詰まりにくい方法として、袋に入れたほうが詰まりにくいんじゃないかという結論に今なってるんです。それで、こうやって書くのは初めてですが、今回こういう整理をして、袋に入れたほうが詰まりにくいので、こうしていただけたら減るんじゃないかという思いで説明しています。

以前、私も袋に入れなくてもいいですよと言った記憶が確かにあります。ずっと見てる中で我々も間違いというのかな、あるので、その辺は見直しながらできるだけいい方法で運用してっております。

ただ、今、おっしゃっていただいたように、袋に入れると投入口の貯留槽の中で隙間がたくさんできて、容積的にいくとすぐに赤ランプがついちゃうんじゃないかというのは確かにあります。その逆をいうと、ばらばらで入れると、ぎゅうぎゅうに詰まってしまって、やっぱり詰まる原因になってしまうということで、あえて多少の隙間があったほうが詰まりにくいとかありまして、今回、こういう説明をさせていただいたんです。

そんなのもあって、まとめて何袋も入れられるとすぐ赤ランプついちゃって、生ごみを捨てたい方が捨てれなくなることもありますので、袋がいっぱいあるときは時間を分けてもらうとか、あしたに分けるという形で御近所に気を使いながら捨てていただけたら、皆様が気持ちよく使えるんじゃないかという思いで、これを作らせてもらってます。

○利用者の会 いろんな視点があると思うんです。僕はごみ捨て担当です、私の家では。捨てる立場から考えると、袋が既に入ってるんです、生ごみを入れるとこに。そこに家族全員がいろんなものを捨てていって、僕がそれを閉じて、手で持っていって、そのまま入れる状況です。そうすると手も汚れませんし、ばらで入れたら水分を含んでるので、べたっと投入口につくんです。それを一々手でとるのも大変ですし、袋に入れるのは非常に捨てる側にとって便利なんです。ですから、そんな視点もあるとは思いま

す。

ですから、それを一々、袋をといて生でどさっと入れたら、また周りにべたっとついて、いろんな人がそれをすると、恐らくあの投入口がべたべたでどうしようもない状態になると思いますので、僕は、袋は便利性的があるとは思ってます。

○利用者の会 利用者の会の三宅です。

もう一つ、袋でも、結局、買い物袋がいろんな強度がありますやんか、ぺらぺらのやつとしっかりしたやつ。そういう意味で、こういうものを入れるときは、このぐらいの強度のあるものというガイドラインみたいなものはつくられませんか。

○市 芦屋市の藪田です。

袋のガイドラインの件、パイプラインではないですけども、例えばよその市ではごみの市の指定袋があります。あれはあれで袋の強度とか全部指定されたやつで作られて、市民の皆さんがそれを使っています。ただ芦屋は指定袋もないということで、今のところ自由な袋になってますので、普通のごみについては何でもいいですと。

このパイプラインはどうやということですけども、吸い込んだとき、管の中に当たって破れて、ばらばらで運搬されてくるので、余り強度があり過ぎるとばらばらにならなくて、それはそれでどこかに詰まってしまうかもわからない。また僕らも今後、経験を積み重ねていって、どんなのがいいんやというのを考えていくんでしょうけども。今のところ普通のスーパーの袋みたいなものでいいのかなとは思ってます。すぐ破れてもいいのかなと。投入口の地下の貯留槽の中でさえ破れなかったら、それでいいのかなと思ってるんです。

ただ、今こうやってしゃべってて、何か違和感を感じてます。実は私たち環境施設課、いわゆるスーパーで袋をもらうのやめましようみたいな運動もしておきながら、こんなこと言うのはちょっと矛盾してるところがあるんですが。これはパイプラインにとっちは必要なことやと思いますし、ただ、過剰にスーパーの袋をもらうのはあれかもわからないですけど、パイプラインのためには、少しぐらいはいいのかなと思ってます。

スーパーの袋のようなものと考えていただければいいのではないかと思います。

○利用者の会 そこまで行くまでに破れてしまいそうなやつは二重にしますとか、そういうのもない。

○市 そのあたりは、皆さん、工夫していただけたら。どっちにしても、輸送管で輸送している間に破れてくれるほうが理想かなとは思ってます。ただ、貯留槽の中で破れて、

ばらばらにならない程度にさせていただければと思います。

○利用者の会 春木です。

私も藪田さんと同じで、単身赴任のとき以降、ごみ担当でやってます。私が興味を持ったときは専用の袋も決まってるんで、なおかつイオンが近くにあって、マイバックでやってきてます。確かに袋がないので、たまにはかごを持っていかんと袋でということやってます。

植木の剪定ごみは有料となっておりますが、これは重量が決まっていますね。10キログラムまでは無料やったですか。

○市 それは持ち込みの場合ですね。

○利用者の会 持ち込みの場合、臨時的に行う剪定等が出る多量のごみは事前に、植木剪定ごみ（有料）へお申し込みをとっておりますけど、10キログラムまでやったら、たしか無料。

○市 はい。持ち込みは。

○利用者の会 いや、持ち込みですよ。ここに持ち込みと書いてるんです。

○市 これは別ですね。

○利用者の会 自宅で剪定したごみをここへ運んできて、有料か無料かという判断基準、これが10キログラム。

○市 説明させていただきますか、混ざってしまってるので。

○利用者の会 混ざってしまってる。

○市 環境施設課の濱田です。

ハンドブックの18ページ、19ページをごらんいただきたいんです。今、おっしゃっていただいてた10キログラムまで無料が、19ページにあります持ち込みごみといいまして、御本人様に予約をしてお持ち込みいただくもの、これがおっしゃっていただいてたように10キログラムまでが無料の分です。

こちらに書かせていただいている植木剪定ごみが、左側、18ページの9番にあります特別収集といいまして、お持ち込みいただくのではなくて、御予約いただいて、うちの収集事業課が、平積みのトラックだったか、パッカー車だったか、たしかトラックだったと思います。（後日確認したところ、基本はパッカー車です。）それで取りに伺う分の案内になっておりますので、こちらは料金体系が異なるんです。

植木のごみを処理していただこうと思ったら、パイプラインに入れてもらう、その他

普通のごみの日プラス、この2つの方法がありますので、量に応じてしていただいたらいいかと思います。

○利用者の会 それはわかるんです。

私の家も年に1回か2回ぐらい、木がわっと上へ伸びたり雑草が生えたりして、家内にしかられてやるんですが、そのとき、毎日、日にちを見てやって。40リットルぐらいの袋で5袋ぐらい、ここへ持ってきたんです、もちろん予約して。重量はかって、10キログラム未満やからオーケーです、入れていってください。また次の日にずっとやって、定期的にやったら、皆、無料でいけたんです。そんなこと言うたら違反になるかどうかわからへんけど。

○市 大丈夫です。

○利用者の会 そうやって、結局、それで皆終わったんです。ここに自宅で行う植木剪定ごみについては有料となっておりますけど、そういうふうに日にちを空けてやって、その都度持ってきたら無料ですね。五、六袋ずつ。こんなこと言ったらあれかもわからんけど、とにかく10キログラム未満であれば無料になるわけやから、ここに有料となっておりますけど、やり方によったら無料になるわけです。一遍にできへんから、自分でやろうとしたら。ある程度、日にち置いてやったら、その都度、面倒がらずに持ってきたら無料になりますよと。それを言いたかっただけの話で。

○市 ありがとうございます。

○利用者の会 ほかに御質問等はございませんか。

ないようであれば、本日の議題5番、パイプライン運転報告に関しまして、資料4、林さんから御説明をお願いいたします。

○市 芦屋市の林です。

資料4パイプライン運転報告、月例の報告になります。前回までが9月20日までの報告でしたので、それ以降1カ月の報告をさせていただきます。

表面にシステムの異常発報対応、裏面に利用からの連絡対応、裏面の下に巡回及び定期点検で発見された不具合等、この3つについて報告させていただきます。

前回からの資料で1点だけ追加した部分がありますので、そちらを説明させていただきます。前回、実際この作業でどれぐらい費用がかかるのかと言われましたので、目安、ざっくりした計算をさせていただきますして、表の右手に分単位の費用を書かせていただきました。こちらに関しましても、第3回の協議会の資料5に、人件費とか営

業日以外の対応する費用がありましたが、こちらを足しますと4,300万円ぐらいでしたので、それを日や人を割って、大体、分単位50円ぐらいで、それぞれ作業人数、作業時間を反映して労務費を書かせていただいております。あくまで目安ですので、こちらだけ御了承いただきます。

表面のシステム異常発報について御説明させていただきます。システム異常が発報したのになります。定時運転、○、×と書いてますけど、今月に関しましては20件ありまして、そのうち15件が定時運転中に発報しております。

また、状態のところに関しましても、20件中11件がシステム停止。実際システムが落ちております。

また、作業内容といたしましては20件中11件、こちらもモニターでの解除作業。実際、外に出ずにモニターでの解除作業を行っております。

1点だけ時間とか費用が高くなってるところに、10月14日、木曜日、13時53分、センター中央制御、伝送異常で、Ⅱ系のシステムの再起動、復帰。システム全体の異常が発報しましたので、こちらの時間がかかっております。

続きまして、裏面をごらんください。

利用者の連絡対応としまして、実際、利用者から、こちら環境施設課または委託業者に連絡をされたときの対応となっております。今月に関しましては3件ございました。

そのうち一番下、10月18日、水曜日、17時25分。ローカル、投入番号が12091。機器名が鍵。状態は鍵が潰れているという連絡をいただきまして、現場に行きました。現場に行きますと投入口のバケットがしまっていない状態で、大量の書籍、段ボール等の投棄あり。輸送管から除去作業後、復帰。

こちらは写真を交えまして説明させていただきます。場所としては1番の潮見町になります。投入番号が12091になりまして、実際にどういったものが出てきたかという、書籍が出てきております。段ボールに関しては、運転で飛んでしまったんですが、飛ばなかった書籍がありまして、輸送管から取り出してから運転は再開しております。

こちらの啓発としましては、1点は投入口にチラシを張らせていただきました。また、このチラシに関しましては利用者にも御連絡いたしまして、メールで送らせていただいております。潮見南自治会長さんにも回覧等、掲示ができないかというので何部かお渡しをしております。

件数に関しましても例年とはほぼ変わっておりません。27年度が5件、28年度が9件、

29年度が3件になっております。

一番最後、巡回及び定期点検で発見された不具合点等に関しましては、うちの委託業者が定期的に回ってる作業で発見された不具合点になります。

場所といたしましては2番になります。投入口ではなく点検口で、点検口のナンバーがI-G-2-1になります。日付が10月18日、水曜日。ローカル、場所がI-G-2-1。機器名が点検口。状態が点検口内確認。作業内容としては、石、重量ごみ取り出しになります。場所としては新浜町にありますマンションの敷地内になります。

実際の写真がこちらです。実際、点検口から、矢印の左手のほう、粘土質の土のようなものが取り出されました。これは袋に入れておりました。右手のほうは、私の手が写ってるんですけど、石が輸送管から取り出されました。

こちらに関しまして、掲示板をマンション全ての投入口のポケットに掲示しておると、マンションなので管理事務所がございましたので、管理事務所の全てのところに回りまして、こういった掲示や回覧ができないかと配付しました。また、利用者の方にも、こちらの掲示はメールで送らせていただいております。

パイプラインの運転報告に関しましては以上になります。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして、質問ございませんか。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の春木です。

まず、この作業時間。例えば、システム異常発報対応の9月25日、ロードセル故障解消作業、18分とか、いろいろ時間書いてますけど。作業ロスいうたら、その発見した後、またもとの作業に復旧するまでのロス時間だと思います。そしたら、現地まで行ってやってることもあると思うんですけど、評価が少なすぎるん違うかなという気するんです。もし異常があったと、見つけて、またもとに戻ってきて正常になるまでの時間。当然、現場まで行かなあかん時間も含めるし、それらは全てロス時間になると思うんです。その辺がもし違うのであれば、また見直していただきたいと思ってます。

もう一つは、皆さん、非常に熱心に活動をしていただいて、ここらのロスをできる限り減らして、できれば委託費も何とかできればいいなと、皆、必死でやられてるということですが。それにしても、「え～」というびっくりするようなトラブルが非常に多いなという気がしてるんですが。

例えば石ころや書籍が出てきてますけど、パイプライン以外の地域、道路脇に週2回、

決められた時間に外へ出してというところで、もし、こういう書籍や石ころがほかさ
れてたとしたら、収集車の作業員とかオペレーターの人らはどうするんですか。
持ってかえって処理するんですか。石ころを持ってかえってきて、やりますか。

○市 芦屋市の藪田です。

今の御質問ですけど、パイプライン以外の地域で書籍や石ころが出されていたらどう
してるのか。全部が全部、発見できてるかどうかは置いていて、収集作業員が明らか
にこれは書籍とか石ころと気づいた場合、その場に置いて。ただ、置いてるだけじゃ
わからないので、シールを張ってその場に置いてきて、出した人に対して注意してる
状況になっております。

○利用者の会 それで言いたかったのは、こうやっっているな詰まってる異物については、
取り出したらその投入口に同じように張り紙して、これは燃えないごみ、石ころな
んかは燃えないごみになるかわからんけど、そういうことを表示して置いとくべきや
と思うんです。書籍なんかもそうやと思うんです。あれだけのことが出てきたら、こ
れは資源回収ごみの日に出してくださいと、持ってかえるのではなしに。他地域のご
みステーションと同じように、私はそうすべきやと思うんです。それで住民の皆さん
も相互注意が。

一般のごみステーションは皆さんそうやと思うんです。何か違うものを置いといたら
持ってかえってもらえへんから、そこにずっと残ることになるんです。私も他市町に
おるときはそんなとこをよう見て、地域でこんなあるみたいなことがありましたけ
ど。やっぱりそうすべきだと思うんです。何かその犯人捜しとかそういう意味ではな
しに、やっぱりみんなが困ってると知ってもらう意味で。そういうことでもしないと、
書籍とか石ころ、新聞や、チラシや、ペットや、先ほどリサイクルでぜひやってくだ
さい言うていましたけど、ひょっとしたらパイプライン住民が悪いん違うんかなとい
う気もするんです。だから、その辺をぜひお願いしたいと思ってます。

もう一つは、私もそう思ったんですが、ここのアドレス、これは住所というか地番と
いうか、それで書いていただきたいと思います。私も自治会に戻ったときに、出てく
れいうことで、今、出てるんですが、そのときアピールするときに探し回らないかん。
実際の住所と、ここのローカル地番で。覚えといたらいいんやけど、最近、記憶力が
乏しかったりするので。それを照らし合わせて、これがうちのやとかとなるんで。で
きたらここは地番というか、それを書いていただいたほうがはっきりしていいん違う

かという気がしています。

これについては異論とかいろいろあるかも知れませんが、またあれしていただきたいと思っています。要するに、せっかく皆さんが一生懸命になって活動してる割には、発生件数が減ってきてないことがありますので、それをぜひお願いしたいと思っています。

反対される意見もあるかも知れませんが、十分その点も考慮していただけたらと思います。

○傍聴者 潮見南の太田です。

先ほど、本が投入されてたということで、同じ地域に住んでる者として非常に遺憾に思ってる状態です。この投入口に関して、前回も棚板ですか、木片として投入されて詰まった同じ場所です。うちの投入口に新しく4万5,000円かけてつくった掲示板があるんですけども、投入したことに對して肯定してるわけじゃないですけども、ちょっと離れて設置されとるので、もっと投入口に近いところに、目立つところに設置できないかと思うんです。

先ほど春木さんがおっしゃったように、これは写真だけじゃなしに、やっぱり現物として、こういうのが捨てられたことによってパイプラインがストップしてしまったと、これに對して撤去するのに幾らかかったとアピールする必要がある。そのことによって、ほかの方が非常に迷惑しとる。捨てた本人自身がそれを知らないでいるのが、次から次に同じ過ちを起こす可能性があるんで、やはり目立つところに掲示したり、現物を置いたり、今後、対応していただきたいと思います。

○傍聴者 続いて、潮見町の野村です。

潮見町はマナーが悪いということで、何か申しわけなく。

○傍聴者 そんなこと言うてないよ。

○傍聴者 いやいや、非常にそういう気になってるんですが。

つけ加えて言いますと、ここの場所と、潮見南公園の萩本さんとのちょっと北側ですけども、その投入口は潮見の人ではない人が車で乗りつけて捨てるんです。私とこの近くもそれがあって、何回か見たことあるんです。あんまりひどいのは、2回ぐらい注意したことがあります。

というのは、我々が捨てに行ったら、潮見町って一戸建てなので大体顔がわかるんです。済みませんが、どちらさんですかと言えば、何かぐじゃぐじゃっと

言うて、いや、前に住んでたんやとか言う人があって。鍵を何で持ってるんですかと。いや、前から住んでるからと、そう言う人があって。だから、現実には潮見町の人でない可能性もある。

そうなってくると、これはお金のかかることやから、1つ提案として、潮見町やったら潮見町だけの鍵、高浜は高浜だけの鍵とか、南芦屋浜の鍵と、それぞれ鍵が違えばなかなかしにくいですけど、今、どこも一緒でしょう。違うんですか。

○傍聴者 高層以外は一緒。

○傍聴者 高層以外は一緒ですか。

○市 A、B、C、D、E、Fと鍵のタイプが分かれています。

○傍聴者 どちらにしても、そういうことがあるので、済みません、潮見町だけが責められないようにしてくださいというのと、何かそれに対する対策を。それは看板を出しても、我々はみんなわかってんねんけど、そういう人が服やら持ってきて捨てたり、車に詰んで、後ろのトランクあけてばっと捨ててますから。あれ見たら、ちょっとと思いますけど。その辺が何とかなればと思います。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

僕、全体を見てますので、全体の視点から考えると一步一步進んでるなどは思ってます。まず、こういうデータが以前は全くなかったので検討しようがなかった。これがやっと出てきた、これが1つ進歩です。

2番目、この中身についてどうか、このデータを見ながら対策を打っていかうと、今、考え始めたんです。まず対策は、投入口のどこかに張ろうと、市の方は以前からされたと思うんですけど、張ってあった。今回からは、それプラス、メールか何かでそれぞれの自治会、管理組合に対して、こんなことが起こってますので、その地域は喚起をしてくださいということがありました。それがまた進んだ点です。

次にどうするか、いろんなことを考えないといけない。野村さんがおっしゃったように、その地域ではない方もおられるので、それもどうしようかというのが1つの課題だと思います。

投入口で表示するところ、番号ではなかなかわからない。私もこの番号を見ながら、自分らのエクセルの投入口を対照しながら、どこかと探してるんです。金額表示はいろんなやり方があるんでしょうけども、こうやって表示されることは非常にわかりやすいと思います。

ですから、私の感じでは一步一步、やっぱり進んでるなど。これを大切にしながら潰していこうという段階だと思いますので、皆様方もいろんな気づきがあると思います。今回、住民説明会を11月からやりますので、この話は全く忘れて、提案だけ話そうと思ったんですけど、写真もありますし、必ずそういう場所では住民の方に直接、写真で見せるのが一番効きますので、こういうことをやっていこうと思っております。

○利用者の会 それ以外の御質問は。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 春木です。

それともう一点だけ、時間もあれかもわかりませんが、非常に気にしてることもありまして。こういうことで、今、石ころやら、木くずやら、新聞やらいっぱい。いっぱい言うたら語弊あるかもわかりませんが、あります。これが、例えば焼却炉のライン、ごみピットからずっと行って、ホッパーへ行って、いろんな機器を通して焼却炉に入っていきます。もし、こういうことが入ったら詰まりやとか、ホッパーでブリッジしたり、火がまた逆流化して火災になったりとか、いっぱい起こる危険があると思うんです。その辺、非常に心配してる、今後のことですけど。今後、ごみ事情というか、いろんなことを考える中で非常に気にしてる部分がそういうところなんです。今、仮にここらを全部ぽんと放り込んでしまったら、焼却炉ラインはどうなるのかなという気がしてるんです。

焼却炉のごみピット以降の詰まりとか、ブリッジとかの故障はこれまでもあるんですか、特にないですか。その辺で、今後のことに関わることやけど、焼却炉ラインのことが気になりまして。今、現状どうなんやと。

○市 藪田です。

焼却炉ラインでの詰まりですけど、パッカー車からごみをピットに落として、ごみピットからクレーンでつかんでごみホッパーに入れて、焼却炉に入っていきます。ここで一番狭いところが、ごみホッパーのその下、のどもとが細くなってるところでブリッジが起りやすいです。寸法もあそこが一番細くて、1メートルちょっとしか幅がないです。よく詰まることが考えられるので、ブリッジ除去装置があるんです。そういう装置はついてるんです。だからブリッジがあれば、そういう機械でブリッジを取り除きます。

私も今まで見てる中で、あの装置があっても取り除けないものもあって、そういうと

きは横の点検口をあけて、作業員がごみを出して作業することも、まれですけどあります。

実際あったのは、ごみに結構大きな鉄板が混ぜられてたり、大きな丸太が混ぜられてたり、ほかのごみと混ぜて捨てられてるケースもあって、そういうときは詰まったりとか。はたまた焼却炉の中までは入るんだけど、鉄板なんかは燃えないので、大きいまま、その先の灰押し出し装置で詰まったりとか、そういうことはまれですけどあります。

今回、パイプラインに投入された異物がそういう原因になるかといいますと、パイプラインの投入口って30センチ四方で結構小さいとか、輸送管が50センチ四方ということもあって、パイプラインで流れてくるごみで、この焼却炉が詰まることは余り考えられへんのかなとは思っています。

○利用者の会 パイプライン言うてないですけど、今後のことを考えて。

○市 将来的にですね。

○利用者の会 将来的に考えて、もし、これが入ったらどうなるかなと。

○市 書籍とかは燃えると思います。よくないですけども、詰まることはないんですけども、余りひどいのごみホッパーののどもとで詰まったりとか、燃えて粉々にならないと、その先の灰押し出し装置で詰まったりとかが十分考えられますので、しっかり分別してもらって、ルールを守って出してもらうのが基本やと思っております。

○利用者の会 ほかに御質問ございませんか。

なければ、次の議題に行きたいと思います。議題6番、経費削減の取り組みの検証について、資料5、尾川さんから御説明をお願いいたします。

○市 環境施設課の尾川です。

この資料5、横のA4の紙を用意していただけたらと思います。

毎月の報告ですけども、経費削減の取り組みで、今回からは、一応、平成28年度、居年度ベースの電力量と電気代も列記しております。今回、10月の協議会となりますので、9月分のパイプラインの使用電力量と電気代が出ております。9月1日から30日の使用電力量としまして10万7,440キロワットアワー。電気代としまして212万5,827円です。これが、もし関電の契約のままでしたら328万3,361円だったということで、115万7,534円、毎月同じぐらいのペースで、このぐらいの削減ができております。

4月1日からエネサーブに変わりましたので、4月から9月の合計としまして694万

9,372円、半年で700万円ほどの電気代の削減という形で順調に削減できております。

電力費の削減としましては以上です。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして、質問等。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 春木です。

第三者委員会のときに、このパイプラインと一般の収集車を比べて問題となったのがコスト、利便性、地球温暖化、CO₂なんかの排出量ですね、環境にも悪いんやということの問題視されて。利用者の会が中心になってこれまでやってきて、これが1つの成果だと思うんです。それからしたら地球温暖化も第三者委員会出てる以上、ISO14001も民間やったら非常に一生懸命やってるよね。環境第一、安全第一ですけど、やってるんです。せっかくやったやつなので、芦屋市としてもISO14001はやってると思うんですが、その1つの成果になるん違うかと思ってるんです。ここは対象外にしてるんかわからんけど。

CO₂の削減もわずかかもわからんけど、それも削減できましたということ、市のトップにも。市のトップはどんなふう考えてるかわからんけど、アピールしてほしいなという気してますので、ぜひその辺も評価を考えてほしいと思います。

○市 毎月、電気代であるとか、水道、ガスの使用料であるとか、そういう形を報告しておりますので、トップも認識してると思います。

○利用者の会 いや、あの。

○市 CO₂として、それに対して換算して数値として出しておりますので、認識してると思います。

今回、皆様の御助言によって電力入札をここで行って、その後、本庁等も引き続いて、本庁舎であったり、ルナホールであったり、小学校であったりも今、順次、電力入札をやっていってる状況です。それも、一定の削減効果額が出ている状況になっております。

○利用者の会 エネサーブと関電と対したら、キロワット当たりのCO₂排出量が違うんですね。

○市 違いますね。

○利用者の会 少なくなってるんですね。

○市 エネサーブが低いので。

○利用者の会 低いから。従来の関電で使ったときのCO₂発生量と、今回、エネサーブをやったのCO₂発生量と、当然、下がってると思うんですよ。

○市 そうですね。

○利用者の会 それが、今回のコスト削減もそやけど、地球温暖化の効果として。地球温暖化やったら地球規模で非常に重要なテーマやと思いますから、そういうことも、せっかくISO14001を私たちもやってるので、やっぱり効果としてはっきりと打ち出しておいたほうがいいと思って、また検討してもらって。

○市 わかりました。

○利用者の会 それ以外に御質問ございませんか。

ないようでしたら、次の議題7、運転方法変更の提案について、資料6を、藪田課長から御説明をお願いします。

○市 藪田です。

議題の7番、運転方法変更の提案について、資料6、A4の1枚物の資料になります。時間もないので、さっと説明させていただきます。

この協議会で、維持管理費の削減でいろんな提案をいただいて、実験も含めてやってきました。その中で1つ、日曜日等の管理体制の変更という話も出まして、6月1日から実験してきました。その実験の結果を簡単に報告させてもらうのと、これをベースに次の実験に1歩進みたいと思いましたので、きょう、お話しさせていただきたいと思います。

2番の実験の結果です。日曜日、自動で定時運転をしております、そこで起きたトラブルを抽出しました。6月、7月、8月、9月、10月と、10月は途中までのデータです。6月に1件、7月に2件、8月4件、9月に3件と、こんな感じで、毎月、自動運転してますとトラブルが起きて、システムなり機械が止まってることが起きております。

(2) 利用者の会の連絡対応につきましては、皆様、この会とか利用者の会でも説明させていただいておりますので、電話は1件もございませんでした。

3番の検証で、これらのことから、日曜日の定時運転中にもトラブルは毎月発生しております。こういう状態の中で管理体制が無人の状態での自動運転は、いろいろな観点でリスクが非常に高いと判断します。後ほど説明しますけども、ごみの量も日曜日はほかの曜日と比べて特段多いわけではないことから、費用削減のためには利用者の

協力がもちろん必要ですが、日曜日の運転を行わない方向での実験を今度してみたいと思っております。今は、日曜日は無人でしたらどうなるんやろうという実験のために自動運転をしておったんですが、トラブルが多いということで運転自体をしない実験をしたいと思っております。

この実験期間ですが、2カ月間を考えていたんです。1カ月に4回しか日曜日はございませんので、2カ月間ほど実験をして、データとか、皆様の利便性が心配になりますので、その御意見をお聞きしたいと思っておりますが、さっきの草木類のごみと一緒に、今、パイプラインが使えない状態になってしまったので、本来であれば11月1日にスタートしたかったんですが、実験できる状態ではないので、開始日は台風の被害の復旧作業の状況を見て、また判断していきたいと思っております。

ですので、また実験をするかしないかについても、またいろいろ御意見をお聞かせ願いたい。また一遍持ってかえって、周りの人、日曜日に運転なくなったら困るわとか、そんな御意見がもしあるようでしたら、また教えていただきたいと思っております。

ただ、日曜日に運転しないのはブロワの運転をしないだけで、いわゆる投入口が青ランプの間はごみを捨てられます。赤ランプになるとごみを吸引できないということですので、青ランプの間は捨てられますよというものでございます。

単純にこれをしてしまいますと非常に利便性が落ちてしまいますので、ある程度、利用者の方の協力も必要と考えております。その利用者の協力で3つほど思いつくものを書きました。

まずは排出抑制の徹底。ごみの発生を抑えて、パイプラインに投入するごみそのものを減らしてしまえば、余り赤ランプもすぐにつかないだろうと。

あと分別です。紙ごみが結構入ってたりしますので、その辺をしっかり分別していただくとパイプラインに投入するごみが減って、また日曜日もすぐに赤ランプにつかないんじゃないかと。

それと、ごみ出しの工夫です。

1番としては、日曜日にできるだけごみを投入しないように工夫をしていただければと思っております。

②で、現状、土曜日、日曜日に、余り家から出かけない方がいらっしゃるのかどうか分からないですけども、その辺のごみを月曜日の出勤時に投入口に投入しているケースが多いんじゃないかと想定しております。そんなこともあるので、できる範囲で、例え

ば、土曜日は運転しますので、土曜日の昼間に入れてもらうとか、月曜日を避けて火曜日以降に投入していただくとか、そういう工夫をしていただければ、この実験がもしかしたらうまくいくのかなと思っております。

この実験が、もしうまくいくのであれば、次年度、4月1日以降の契約に反映させたいと思ってるんです。もしできれば、1年間に250万円ほどの削減が期待できるんじゃないかと思っております。

資料の裏面、参考データです。途中で話ししました、日曜日はほかの曜日と比べてごみの量が多くないところが、①の上の折れ線グラフです。曜日別の月平均のごみ量で平成26年度が青色の折れ線です。平成27年度は赤色の折れ線、平成28年度は緑色の折れ線であらわしております。これで見ましても、月曜日が1週間の中で一番ごみが多い曜日になってます。日曜日は、多い年もあるんですが、直近の28年度はほかの曜日と比べてさほど多いわけではないのかなというデータとなっております。

その下、②過去3カ月間、今年度の7月、8月、9月の住宅形状別の日曜日の満杯がついてる数を数えてみました。1日当たり何回ついてるかで、高層住宅が、日曜日、1日0.4回ぐらいの満杯運転の回数です。低層住宅も0.8回ぐらいついています。一番多いのが中層住宅で1回を超えてる月もございます。一番影響があるのが中層住宅で、日曜日をやめると一番影響が出るのかなと思っております。

中層住宅は、新浜町のラ・ヴェールとか緑町の緑住宅となっております、そのあたりの中層住宅の方には影響の出る実験かと考えておりますので、実験をするしないについても、また御意見をお聞かせ願えればと思っております。

提案として上げさせていただきました。

以上です。

○利用者の会 ただいまの御説明に関しまして、質問はございますか。

山口さん。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

確認ですけども、2、実験の結果とあります。これは、人がいたためにこのトラブルをその時点で終了させて、緑ランプになって、こういうことをしたということですか。それとも、それはできないので飛ばすとか何か操作方法を変えるとか、その辺の確認をお願いします。

○市 藪田です。

実験の結果、6月、7月、8月、9月、こちらは実際データをとるためもありまして、出勤はしておりました。トラブルが起きたときにはその作業員が行って解消しておりましたので、実際のところ利用者の方には御不便をおかけしなかったかと思えます。

その辺の、日曜日に作業した、どんなトラブルが起きたというのが、本日も説明ありました、資料4のパイプライン運転報告という表です。こちらで日曜日のトラブル、作業内容としてこういうことを、作業人数が何人で何分かけてやったと毎月、報告してきたわけです。今の実験としましては、人を配置してたので復旧しておりました。次の実験としては、復旧もしないで、ほんまに人がいなかったらどうなるのか、利用者の方、その利便性の影響も見てみたいと思っております。

以上です。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

ということは2つの条件があったら止まる。1つは満杯で赤ランプがついたら使えませんが、もう一つは、こういうトラブルが起きたときには、その時点で自動的にそのラインは止まりますと、この2つですか。だからブロワだけじゃなくて、トラブったときも動かない。その2つを日曜日は人がいませんのでできませんと。

もう一つの確認は、じゃあ月曜日の朝、今、5時半からですよ。これはやるわけですか、自動運転を。そしたらトラブルのところはできない。朝8時から来るので、そこで確認してと。それがないところは動いてしまう。

○市 藪田です。

日曜日にトラブルが出てとまってしまったところは月曜日の朝も、まだ5時半の段階では人が来ておりませんので、復旧できないために運転はできていない。だから、月曜日の朝も運転はできない状況になります。

それと部分的とか系統別であればそこだけですけども、システム停止という言葉がここにも出てるんです。例えば、7月の2件のうち1件は弁閉異常でシステム停止。8月も弁閉異常でシステム停止が3件。その下もシステム異常が2件起きたりしてます。システム停止は、何らかの影響でうちのセンターのシステムが止まってしまってますので、いわゆる全域が止まってしまってることになります。その場所、その系統だけじゃなくて、全域が、月曜日、作業員が来て復旧してからの運転になります。

○利用者の会 大永です。

もう一度、確認したいんですけど、土曜日の運転は5時までですよ。その後の引っ

張るのは、日曜日の朝の自動運転があつて、それからは何もできないというか、月曜日の朝までは何もできない状態になるんですか。

○市 今回の実験の提案は日曜日、要は無人の状態での自動運転はリスクが高いのでやめたいと。だから、土曜日の夕方の運転が最終になって、日曜日は朝の定時さえもなしと考えてます。これ非常に大きいことやと思うので、やるかやらんかについてもよく考えたほうがいいとは思ふんです。

ただ、今まで話ししてました日曜日の管理体制の変更という実験は、ほんまに実現するんやったらこういうことになるし、余りにも影響が大き過ぎるので、この実験というか削減を止めとこかと、ほかのことを考えるのであれば、日曜日の体制変更は実現しないほうがいいかと思っております。

○利用者の会 それ以外に御質問はございますか。

長谷さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の長谷です。

とりあえず提案があつたことで、山口さん、どうです、利用者の会が7日もあるし、その辺で議論されて。多分、無人化した段階で、リスクは高いわねと、無人化となるとリスクって避けられないよねと言うてたので。じゃあどうするんだと。運転を停止してと発想するんですけど、果たしてそれってどのような影響があるのかと、もう少し検証したほうがいいかなと思いますので、この件は提案をいただいたということでいかがですか。でないと次の議題に行けないし。

よろしいですか。

○利用者の会 私自身はやったほうがいいと考えてるんです。何でかというのと、やらんとわからんですよね、どんなリスクが実際にあるかどうか。ですから、当然そこは慎重にやりながら、とりあえずやってみて、いろんなデータをそこで集めて、再度検討することも1つの方法だと思うんです。何ぼ議論しても恐らくこれはわからない部分があるので、一遍やってみよう。例えば2カ月なら2カ月やると。そこで、もしリスクが出てきたら途中でやめてもいいと思うんです、大きなリスクが出てきたら。だから、そこをどう判断するかは考えないといけないかなという気はします。

○利用者の会 慎重にやってる、去年の話やから。

○利用者の会 済みません。

○利用者の会 終われへん。

○利用者の会 日常的に新浜とか、中層住宅のタンク自身の容量が少ないところの運転を止めるのは、かなりハイリスクやと思うんです。いきなり土曜日の晩から使えない状態になってると思うので。それは意見を聞くか、逆に、意識的に、この全体の実験する前に、そこだけ一遍とめてみたらどうかと思うんです、日曜日に人がいてる間に。中層住宅のところと、土曜日に運転を1日とめて、日曜日の朝にどうなってるかを見たほうがいいんじゃないかと思うんです。土曜日の前に、いつも新浜の電気がちらちらついているように思うので、日曜日の朝に引っ張らへんと、かなり部分的な影響が大きいと思うので。だから、そういう議論をしたほうが。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

もしそういうことがあれば、特別に、例えば土曜日、帰られる前に新浜と緑町は全部引くと、そして帰るといふのもあるので、やっぱりもう少し検討したほうが良いと、私も、今、思いました。

○利用者の会 そやから、別にとめるということであっても、オペレーターはいてるわけでしょう。

○市 はい。

○利用者の会 何があるかわからんもんね。

○市 一応、データをとるために人は。

○利用者の会 それが大前提やね。

○利用者の会 そうしますと、この御提案を私ども利用者の会は受けましたということで、利用者の会でみんなで話し合う。しかるべき結論を持って、また1カ月、すぐ来月の会議がありますから、わかれば連絡させていただき、お時間をいただくことにしたいと思えます。

以上で次の議題に移りたいと思えます。

8番、今後のパイプライン施設に関する提案の説明会の報告を山口委員長からさせていただきます。

○利用者の会 利用者の会の山口です。時間がもう過ぎてますので。

まず11月から12月にかけて、皆さん方に説明会という形でポスターをつくりました。芦屋浜センタービルで3回、潮見集会所で2回、陽光町で1回、潮芦屋交流センターで1回、計7回です。直接、住民の方に提案書の説明をする予定です。このポスターは全戸配付いたします。これとは別に芦屋パイプライン通信を1回発行して、これも全戸配

付しましたけども、その第2号の印刷をお願いしてます。それと、これの中に入れて計3枚のものをつくって、今度の利用者の会でそれぞれの組織をお願いしてる。組織がないところは、我々で一戸一戸ポストに入れていく作業をして、できるだけ多くの皆さんがこの説明会に来るようにやりたいと思ってます。

2番目です。今までそれぞれの組織でいろんな説明をしてますので、Q&Aが出たものを皆さん方と一緒にシェアしようと、第1回目は前回に報告をしました。今回、第2回目が3ページのもので、重要なのが、1番は今言ったことです。2番はわかりにくいということだったんですけども、今回、非常によくなりましたので、これはいいかと思えます。

これを読めば大体わかる形にしてるんですが、1つだけ、私たちになかった視点がありました。最後の3ページ。これは南芦屋浜地区で行ったときの質問です。16番、市から見たら、何を満足させたらこういう条件を満たすのでしょうかと。私も意味がよくわからなかったんです。要するに、こういう条件を出したら市がオーケーを出すんじゃないかと、そこは何かとおっしゃいましたので、これはなかなか難しいので、今回は住民も、市も、お互いがある程度納得できるものをつくってますと話しました。

問題は17番目です。17、18と同じ話です。南芦屋浜地区は小学校の問題で、住民の方が思っておられる感じておられることは、ひっくり返したんだと、小学校が廃止されて非常に不信感があるという方がおられるということです。私たちも小学校がなくなったのは知ってたんですけど、そこで行政と住民の方がうまくいってないという話がありました。ですから、せっかく私たちが提案しても、それがひっくり返されるのではないかとということです。それをされないように、私たちは一生懸命、各住民の意見を聞き、議員の皆さんの意見も聞いて、こういうQ&Aが出て、こう答えました。この提案書はそういうバックボーンをちゃんと踏まえてつくっておりますと市にもきちっと提案していこうと思います。

個人的には21番目。これは直接パイプラインとは関係ないですけども、南の人たちが、箱物ばかりをつくっていて、住民サービスの面に予算を割く考え方もあるのではないかと。そのとおりですと。

最後に、これは私も提案の中に書いたんですけど、ごみは誰が処理するのでしょうかと、いい質問だと思いました。パイプラインは、実は集積機能と回収機能と2つあるんです。ですので、この辺が、今後、代替案を考えるときには、集積は住民の責任、それ

を回収するのが市の責任と、その辺の機能をもう少し検討する必要があるかと私は思っております。

以上でございます。

○利用者の会 今回の御説明に何か御質問等は。

野村さん。

○傍聴者 潮見町の野村でございます。

山口さん、5番の海外の状況はどうなんだろうというの、私が、この前、説明させていただいたところやと思うんです。ここで1つつけ加えておけば、我々一戸建てのところでは、一部中層も考えられるかもしれないですけども、今のごみの捨てるキットの地下があるので、それを利用しようと考えてると御説明の中につけ加えていただきたい。

それと輸入なのでとお書きになってますけども、これは何を輸入するのかはわかりませんが、ノウハウとかパテントがあれば、それは輸入しなきゃならないかもしれないですけども、実際、設備自体は全部日本でこしらえることで、今、検討しております。だから、ここで輸入という言葉は使わないでいただきたいと思います。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

輸入は削りましょう。だから、輸入なので代理店やメンテナンスを検討する。課題はありますが、今後とも検討していきたいとしたいと思います。

○傍聴者 ちょっと待ってください。今の話であれば、輸入なのでから検討するところまでは削るということですか。

○利用者の会 そうです。

○傍聴者 わかりました。

○利用者の会 それ以外に御質問なければ、そろそろ時間も超過しておりますので、本日の・・・。

はい、太田さん。

○傍聴者 潮見町の太田です。時間超過で申しわけないですが。

最初の資料、台風21号の後の、今、全面的に広域でストップしてる。それと、水が侵入して吹き出してる状況を見て、長谷さんも市議会の本会議で市長に質問、提案等をされてます。また、山口さんの議事録で、今後20年、ひょっとして5年もつかどうかも非常に危惧しているとも言っておられます。こういう状態で、一応、利用者の会として今後20年、何とかもたしてもらいたいと提案されてますけども、我々潮見町としましては、

先ほど野村さんも言いましたけども、地下ピット案を真剣に協議会としても考えてもらいたいと思います。

これは前回の協議会で説明されてますけど、ヨーロッパで普及していった。今後、日本でも取り上げて行って、日本でも普及する可能性が非常に大であると。ましてや芦屋市全体でも採用していけるものであると私は考えておるんです。無電柱化を今後、山手のほうで進めていかれると聞いてます。同じ地下を掘って電柱を入れる工事を伴って、進めていくという芦屋市の方針があるなら、同時に他地域においても地下ピットを掘って、芦屋が日本に先駆けた方式を採用していただけないかと、この協議会及び利用者の会においても真剣にというか、今後、検討していただきたいと思います。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この問題は御指摘の部分があると思います。この間の利用者の会で太田さんがおっしゃったように、グループEという形で検討していこうということなので、分科会で、グループEで今後とも検討していったらいいと思います。

というのは、地下ピットはメリットとデメリットの両方ありますし、また、いろんなほかのアイデアもあると思うんです。ですから、地下ピットが唯一の解だと私は思ってません。いろんなものを見ながら、そこで判断すると。

ただし、さっきもおっしゃったように芦屋市で広げていくという考え方はあると思いますので、それも含めてグループEで、今後、時間をかけて検討していくのがいいと私は思います。

○利用者の会 それでは、皆さん、次回の話ですが、11月25日の土曜日、御都合はいかがででしょうか。

11月25日、土曜日で、場所はこちらで、時間は10時からで決定させていただきたいと思います。

それでは、本日、第14回のごみパイプライン協議会、これにて終了させていただきたいと思います。どうも皆様ありがとうございました。